

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公表番号】特表 2007-505167(P2007-505167A)

【公表日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-009

【出願番号】特願 2006-517919(P2006-517919)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 L 1/02 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 1/02

C 0 8 L 23/26

C 0 8 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 2 日 (2007.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) ポリオレフィンと、

(b) セルロース充填材と、

(c) 3 5 m g K O H / g より高い酸価を有するカルボン酸および / またはカルボン酸無水物グラフトポリオレフィンと、

(d) 複合物の重量に基づいて 8 乃至 2 0 重量 % の量で存在する基本の反応性充填材と

、

からなる熱可塑性複合物。

【請求項 2】

前記グラフトポリオレフィンの酸価は、4 0 m g K O H / g より高いことを特徴とする請求項 1 に記載の複合物。

【請求項 3】

前記グラフトポリオレフィンの酸価は、4 0 乃至 5 0 m g K O H / g であることを特徴とする請求項 1 に記載の複合物。

【請求項 4】

前記グラフトポリオレフィンは、5 0 , 0 0 0 g / m o l 未満の分子量を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 5】

前記グラフトポリオレフィンは、2 0 , 0 0 0 g / m o l 未満の分子量を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 6】

前記グラフトポリオレフィンは、1 0 0 0 乃至 1 0 , 0 0 0 g / m o l の分子量を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 7】

前記グラフトポリオレフィンは、複合物の重量に基づいて 5 重量 % までの量で存在することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 8】

前記グラフトポリオレフィンは、複合物の重量に基づいて 1 乃至 3 重量 % の量で存在することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 9】

前記カルボン酸および / またはカルボン酸無水物グラフトポリオレフィン、マレイン酸無水物グラフトポリプロピレンであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 10】

前記基本の反応性充填材は、CaO、MgO、Al₂O₃ およびそれらの混成からなる群から選択されることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 11】

前記ポリオレフィン、複合物の重量に基づいて 20 乃至 90 重量 % の量で存在することを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 12】

前記ポリオレフィン、ポリプロピレンまたはポリエチレンであることを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 13】

前記セルロース充填材は、複合物の重量に基づいて 30 乃至 80 重量 % の量で存在することを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 14】

前記セルロース充填材は、繊維質であることを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 15】

前記セルロース充填材は、木粉であることを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 16】

二次的な強化材、潤滑剤、衝撃改良剤、充填材、顔料、色素、抗酸化剤、安定剤、難燃剤、再燃焼助剤、結晶化助剤、アセトアルデヒド還元合成物、リサイクリングリリースエイド、酸素捕捉剤、可塑剤、柔軟剤、成核剤、発泡剤、離型剤、またはそれらの混成をさらに含むことを特徴とする請求項 1 乃至 15 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 17】

(a) ポリプロピレンと、
(b) セルロース充填材と、
(c) 35 mg KOH / g より高い酸価を有する無水マレイン酸グラフトポリプロピレンと、
(d) 複合物の重量に基づいて 8 乃至 20 重量 % の量で存在する基本の反応性充填材と
からなる熱可塑性複合物。

【請求項 18】

前記基本の反応性充填材は、CaO、MgO、Al₂O₃ およびそれらの混成からなる群から選択されることを特徴とする請求項 17 に記載の複合物。

【請求項 19】

前記無水マレイン酸グラフトポリプロピレンは、20,000 g / mol 未満の分子量を有することを特徴とする請求項 17 または 18 に記載の複合物。

【請求項 20】

前記無水マレイン酸グラフトポリプロピレンは、複合物の重量に基づいて 1 乃至 3 重量 % の量で存在することを特徴とする請求項 17 乃至 19 のいずれか一項に記載の複合物。

【請求項 21】

ガラスファイバーをさらに含むことを特徴とする請求項 17 乃至 20 のいずれか一項に記載の複合物。